

土蔵の宿処「越」の紹介

「越」は印章店「博可堂」を開いていた井波家を長男が 2023 年 1 月に購入し、昭和 9 年に撮影された井波家の写真をもとに、2024 年に 7 ヶ月かけて修復したものです。裏にある土蔵については 2027 年に修復する予定です。この家は、明治 38 年(1905 年)建造されたもので、山町筋伝統的建造物群保存地区を構成する伝統的建造物に指定されています。

高岡市山町筋伝統的建造物群保存地区は、近世初頭に建造された城下町の骨格を残しながら、明治 33 年の大火後、防災を主眼とした当時の都市計画の記念碑であり、重厚かつ繊細な意匠をもつ土蔵造り等の伝統的建造物が建ち並び、特色ある歴史的景観が形成されているので、高岡市が保存しているものです。そして、2000 年 12 月に文化財保護法に基づく重要伝統的建造物群保存地区に選定されました。これにより、高岡市が行う修理・修景事業等に対して、文化庁や富山県教育委員会による指導・助言、事業費補助、税制優遇措置等の支援が行われています。

2024 年 8 月 15 日現在、重要伝統的建造物群保存地区は、106 市町村で 129 地区あり、約 30,680 件の伝統的建造物及び環境物件が特定され保護されています。そして、山町筋には 46 件の伝統的建造物があります。



図 1 修復前の越(井波家)



図 2 昭和 9 年(1934 年)の井波家(博可堂)



図 3 大正時代の山町筋